

論文執筆要領について

## **Heli Japan 2010**

「ヘリコプタの先進技術と安全運航」  
に関する国際会議

大宮ソニックシティ

2010年11月1日～3日

## はじめに

このドキュメントは Guide for Authors の日本語版で、Heli Japan 2010 における論文執筆要領について説明しています。よくお読みになった上で原稿を作成し、お送り下さい。原稿をご送付いただく期限は、10月15日(金)です。

先進技術セッションの発表者の皆様は Guide for Authors に従って英文で、また、安全運航セッションの発表者の皆様は Guide for Authors に従って英文で、あるいは論文執筆要領に従って和文で原稿の執筆をお願いいたします。ただし、安全運航セッションの発表者の皆様に限り、やむを得ない場合はプレゼンテーション用原稿の形でもお受けいたします。

このドキュメントの最後には「発表者情報」と題したページが添付してあります。これは発表時に司会者による紹介などに用いるものです。こちらも 10月15日(金)までに FAX またはメールにてご送付下さい。

宛先：ヘリジャパン 2010 プログラム委員長 青山 剛史

〒182-8522 東京都調布市深大寺東町 7-44-1

独) 宇宙航空研究開発機構 研究開発本部 数値解析グループ

e-mail: aoyama@chofu.jaxa.jp FAX: 0422-40-1026

### 原稿の体裁について

・原稿はメール、CD-ROM、またはフロッピーディスクにて上述のプログラム委員長（青山剛史）までお送り下さい。その他のメディア（ZIP、LHA など）についてはご相談下さい。

・ファイルにてご送付頂く場合は、PDF (Portable Document Format) 形式か Microsoft Word 形式でお送り下さい。ただし、Word ファイルの場合、マクロやオブジェクトへのリンクは使用しないで下さい。

・原稿は 30 ページ以下でお願いします。

・用紙設定では A4 を指定し、上下左右の余白は 2.5cm として下さい。

・和文フォントには MS 明朝または MS ゴシック、欧文フォントには Times または Helvetica 系のフォント（Windows の場合 Times New Roman, Arial など）を使用して下さい。

・タイトルには 10 ポイント以上のフォント、その他の部分には 10 ポイント程度のフォントを使用して下さい。

・タイトルと要約の部分は 1 段組として下さい。

・本文はできれば 2 段組として段の間隔は 5mm 程度として下さい。

・2 つの節、パラグラフ、および文章と数式の間は 1 行分の間隔を空けて下さい。

・見出し、小見出しには太字または下線を用い

て、番号付けはしないで下さい。

・図表は本文の中に適宜挿入して下さい。

・色の使用は図表の中だけに留めて下さい。

・ページの下部に、「発表番号-ページ番号」をお書き下さい。例えば発表番号が T123-1 であった場合、3 ページ目の下部中央には「T123-1-3」と入れて下さい。発表番号は、プログラムがホームページに掲載された時点でご確認ください。アドレスは以下の通りです。

[http://www.helijapan.org/HJ2010/jpn/hj2010\\_info\\_menu\\_jpn.html](http://www.helijapan.org/HJ2010/jpn/hj2010_info_menu_jpn.html)

・1 ページ目に、このページの脚注のように脚注をお書きください。

・可能な限り英語による記述（特に図面などについて）をお願いします。

### 各部の詳細

#### タイトル部分

タイトルは和文のみならず英文も記述してください。また、タイトルの他に各著者についてお書き下さい。内容は著者の氏名、肩書き、所属（会社名）、市区名までの職場住所、メールアドレスとして下さい。

#### 概要

150 語程度で 1 パラグラフの概要をお書き下さい。

#### 記号・略号

数式を使用している場合など、記号・略号を多く使用している場合は一覧をお書き下さい。出来ればアルファベット、ギリシア文字の順に

並べて下さい。

## 本文

前述したとおり、本文中の見出し・小見出しには**太字**または下線を使用して下さい。

## 数式

数式の数が多い場合には、各数式に番号をふって下さい。

## 図表

図表は出来る限り本文中に適宜挿入して下さい。もし不可能な場合には、全ての図、全ての表をまとめて、本文の後ろに挿入して下さい。

各図表には番号とキャプションをつけて下さい。表の体裁の例を以下に挙げます。

Table 1 表の例

Flight Profile	Level		Descend	
	A	B	C	D
Case				
Airspeed [kt]	70	100	70	100
Rate of Descent [fpm]	0	0	700	1000
Number of Runs	3	3	4	5

また、PDF に変換した際に図表が意図した通

りに表示されているかご確認下さい。

## 付録

必要に応じてデータ、式の導出などを示すために付録を用いて下さい。その際には見出しに A, B,... とアルファベットをふって下さい。

## 参考文献

参考文献は原稿の最後にまとめて、本文で引用した順に番号付けをしてお書き下さい。以下に参考文献の例を示します。

**Book** – <sup>1</sup>Johnson, W., Helicopter Theory, Princeton University Press, New Jersey, 1980, pp. 808-813.

**Periodical** – <sup>2</sup>Chopra, I., “Dynamic Stability of a Bearingless Circulation Control Rotor Blade in Hover, ” Journal of the American Helicopter Society, Vol. 30, (4), October 1985.

**Report** – <sup>3</sup>Straub, F., “Study to Eliminate Ground Resonance Using Active Controls,” NASA CR 166609, October 1984.

**Meeting Paper** – <sup>4</sup>Esculier, J., and Bousman, W., “Calculated and Measured Blade Structural Response of a Full-Scale Rotor,” American Helicopter Society 42nd Annual Forum, Washington, DC, June 1986.

# Heli Japan 2010 発表者情報

必要事項にご記入の上、10月15日(金)までに以下の宛先までお送り下さい。

安全運航セッションについては、発表タイトル、著者氏名などを日本語・英語の両方でご記入下さいますようお願い申し上げます。

宛先：

ヘリジャパン 2010 プログラム委員長 青山剛史  
〒182-8522 東京都調布市深大寺東町 7-44-1  
独) 宇宙航空研究開発機構 研究開発本部 数値解析グループ  
e-mail: aoyama@chofu.jaxa.jp FAX: 0422-40-1026

発表番号: \_\_\_\_\_ セッション名: \_\_\_\_\_

発表タイトル(英題 必須): \_\_\_\_\_

発表タイトル(和題 安全運航セッションのみ日本語でもお書き下さい): \_\_\_\_\_

著者(各著者の氏名, 肩書き, 所属を英語でお書き下さい 必須)

1. \_\_\_\_\_
2. \_\_\_\_\_
3. \_\_\_\_\_
4. \_\_\_\_\_
5. \_\_\_\_\_
6. \_\_\_\_\_

著者(安全運航セッションのみ各著者の氏名, 肩書き, 所属を日本語でもお書き下さい)

1. \_\_\_\_\_
2. \_\_\_\_\_
3. \_\_\_\_\_
4. \_\_\_\_\_
5. \_\_\_\_\_
6. \_\_\_\_\_

発表者について

氏名: \_\_\_\_\_

電話: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_

メールアドレス: \_\_\_\_\_

**発表者略歴:** (英語50 語, 日本語 150 字程度でお書き下さい) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

※ 発表時の使用機材はプロジェクタです。また、パソコンは会場に用意されます。